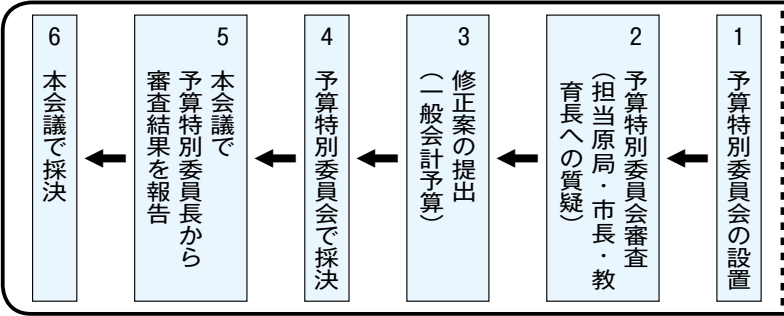


平成24年度 一般会計予算等を審議 一般会計予算を修正可決

平成24年度 予算審査の流れ



予算特別委員会審査風景

予算特別委員会委員

委員長	赤松 正博 (日本共産党)
副委員長	前川 綾子 (鎌倉みらい)
委員	西岡 幸子 (公明党)
	飯野 眞毅 (民主党)
	長嶋 竜弘 (鎌無会)
	高野 洋一 (日本共産党)
	三宅 真里 (神奈川ネット)
	山田 直人 (かがやく鎌倉)
	池田 実 (鎌倉みらい)
	石川 寿美 (神奈川ネット)

一般会計予算、下水道事業特別会計予算等6特別会計予算など、平成24年度予算関係議案37件が提出されました。主な内容は次のとおりです。

1 予算総額

一般会計及び6特別会計の合計／994億1030万円（前年度比1%の減）

（各予算規模）

一般会計／552億8600万円（前年度比2.1%の減）

特別会計／下水道事業、大船

駅東口市街地再開発事業、

国民健康保険事業、公共用

地先行取得事業、介護保険

事業及び後期高齢者医療事

業の6特別会計合計で、4

41億2430万円（前年

度比0.5%の増）

1 予算特別委員会の設置

2月16日の本会議におい

て、平成24年度予算関係議案

37件のうち条例制定議案等18

件を可決し、2月24日の新年

度予算等に対する各会派から

の代表質問を終えた後に、特

別委員会設置の動議で10名の

委員からなる平成24年度鎌倉市一般会計予算等審査特別委員会（以下「予算特別委員会」という。）を設置し、平成24年度予算関係議案19議案の審査を付託しました。

2 予算特別委員会審査（担当原局・市長・教育長への質疑）

予算特別委員会では、付託された予算議案等について、

市長が所信表明で述べている

予算の内容はどのようなもの

か、限られた財源の中で、第

3次総合計画第2期基本計画

後期実施計画に位置づけられ

た諸事業を初め、市民生活に

密着した事業や重点的かつ政

策的な課題・施策がどのよう

に予算に盛り込まれているか

などの観点から、3月8日及

び12日から14日にかけて、担

当原局に対する質疑を行いま

した。

また、3月15日には施策の

一部について市長・教育長に

対する質疑を行い、喫緊の課

題である津波避難対策に関す

ること、子育て支援や待機児童対策に関すること、ごみ処理行政に関することなどについて見解をいただきました。

3 修正案の提出（一般会計予算）

市長・教育長への質疑の後、4人の委員から連名で、平成24年度一般会計予算の原案に

対して修正案が提出されまし

た。修正案の内容は次のとお

りです。

○総務費

避難所用間仕切りの配備

当初予算案では、避難訓練

用使用する間仕切りの購入

費が4組分計上されていまし

た。しかし、東日本大震災に

よって大災害時の避難所のあ

り方は、短期間の避難施設で

はなく、長期間の避難所とし

ての機能が求められるように

なったことから、全てのミニ

防災拠点で間仕切りを配備す

べきと考え、総合防災対策費

のうち、防災対策整備事業と

しての避難所用間仕切り等購

入消耗品費を884万1千円

増額し、1052万5千円と

計上しました。

○衛生費

生ごみ処理機購入費補助金の見直し

当初予算案では、生ごみ処

理機購入費補助金として34

91万6千円が計上されてい

ましたが、その積算根拠は、

今年度の実績を大きく上回る

1090台を購入見込台数とし

ており、その内訳について

も電動型が820台となってい

ました。これは、本年2月

までの補助金執行実績（非電

動型が62%）と比較しても著

しく偏ったものとなっております。

東日本大震災後の市民生活

のあり方と大きく乖離してい

るだけでなく、ごみ処理基

本計画の目標値に無理やり近づけたものであることが、質疑を通じて明らかになりました。

よって、今年度の普及実績

を踏まえつつ、前年度比にお

ける直近4カ月の増加割合を

勘案し、じん芥処理費のうち、

生ごみ処理機購入費補助金を

1491万6千円減額し、2

千万円として計上しました。

焼却施設整備検討委託料の削減

本市における新焼却施設の

具体的な検討については、逗

子市とのごみ処理広域化協議

の成り行きを見極め、明確な

方針が示せる段階で、焼却施

設整備検討に係る調査委託を

実施すべきものと考え、じん

芥処理費のうち、焼却施設整

備検討委託料を1022万7

千円減額し、焼却施設整備の

基本構想策定に係る検討委託

料として552万3千円を計

上しました。

○歳入

歳入の減額に伴い、財政調

整基金繰入金金を1630万2

千円減額しました。

4 予算特別委員会で採決

付託を受けた平成24年度一

般会計予算など19議案の採決

を行いました。

その結果、一般会計予算は、

修正案及び修正部分を除く原

案を可決、下水道事業特別会

計予算を初めとする6特別会

計予算については原案のとお

り可決、鎌倉市墓地等の経営

の許可等に関する条例の制定

についてを初めとする12件の

条例関係議案については原案

のとお可決すべきものと決

しました。

5 本会議で予算特別委員長

から審査結果を報告

3月22日の本会議において、予算特別委員長から、委員会に提出された一般会計予算案に対する修正案の内容、予算特別委員会での審査結果等が報告され、次の3つの意見が付されました。

①来年度に実施を予定している津波避難経路調査・設計委託については、速やかに業務を実施するとともに、緊急避難の空地や建築物の指定、高台への避難のための階段の整備などについて、地元住民との協議・調整を十分行い、市の責任のもとに津波避難対策への取り組みを強力に推進すること。

②本市の待機児童対策については、津波対策と同様、喫緊の課題の一つであり、鎌倉地域と玉縄地域では待機児童解消のための対策が特に進んでおらず、深刻な問題となっているため、鎌倉地域においては、旧鈴木邸・今井邸の活用についての検討を、玉縄地域においてはフラワーセンター用地の買収をそれぞれ早急に進めるなど、保育環境の整備を促進していくこと。

③古都鎌倉の財産である個々の史跡や文化財の保存・管理はもちろんのこと、それらを総合的に調査・研究及び保存・管理を行っていくための体制構築が求められており、その点に関して、発掘調査体制を強化するための計画策定に係る経費が予算計上されていることについては評価するが、目前となった世界遺産登録を見据え、本市の文化財行政の中心となる埋蔵文化財センターの整備に本腰を入れて取り組むこと。

鎌倉市議会からのお知らせ

◇かまくら議会だより 音声版・点訳版のご案内
「かまくら議会だより」は、鎌倉朗読・録音奉仕会と鎌倉市点訳赤十字奉仕団のご協力により、音声版（収録テープ）と点訳版を作成しています。ご希望の方は議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

◇請願・陳情の出し方
市民の皆さんの意見・要望を、市議会を通して行政に反映させる制度として請願と陳情があります。提出に当たっては、所定の様式があるため、事前に議会事務局 議事調査担当までお問い合わせください。

請願と陳情の違い…請願は1人以上の紹介議員の署名が必要ですが、陳情は不要です。
提出の締め切り…提出はいつでも可能ですが、定例会初日の前日までに提出された場合はその定例会で審査、期限を過ぎての提出の場合は次回定例会での審査となります。

鎌倉市議会事務局 議事調査担当

電話：0467-23-3000 内線2448
FAX：0467-23-5825
メール：gikai02@city.kamakura.kanagawa.jp

本会議・委員会映像 公開中です！

鎌倉市議会では、本会議及び各常任委員会等について生中継を行っています。（録画映像も見ることができます。）



議員有志で調査研究活動を行っている「政策法務研究会」の研究活動内容も紹介しています。

鎌倉市議会ホームページはこちら！

<http://www.city.kamakura.kanagawa.jp/gikai/index.html>

または、

議員から、討論として、原案の賛成により可決、一般会計予算については修正案及び修正部分を除く原案をそれぞれ多数で可決、下水道事業特別会計予算及び後期高齢者医療事業特別会計予算についても多数の賛成により可決しました。